

の 市報

みのかも

47年

5 月号

No. 155

人口の動き

総人口	4月1日現在
男	35,792人
女	17,737人
(昨年同月)	18,055人
世帯数	8,733戸
(昨年同月)	+ 334
住民登録人口より	



(下米田小学校の鳥小屋の中)

とじておくとべんりです。

通じ合う心

鳥と子どもと先生

多くの小学校で、子どもたちが鳥や動物の世話をしています。ここ下米田小を訪れ、子どもとともに熱心に鳥の世話をする井戸先生に聞いてみました。

「この年ごろの感情には、小動物を飼いたい、だいたいという興味が強い。飼育活動を通して、餌を与えようとして植物の名を覚え、季節を肌でとらえ、同志がふれあい、助けあうことができます。本年度から飼育を見重委員会活動として学校全体のものにした。飼料はPTAの補助をいただいているが、菜園は自給自足して自分たちで作れないだろうか、と思います。」

早く大きくなあれ！

ぼくは、毎日とりにえさをやります。早くたまごを生めばいいなあ。とか、早く大きくなればいいなあ。と思いつながらえさをやります。

いままさに、少しづつがたまごを生んだり、ひなをかえしたりしました。

いま、チャボの親鳥が卵を七こあたためています。

「五月一日ごろひなになるよ。」と先生がいきました。

ぼくは、ひなになるのがまちどおしいです。下米田小四年 世話係

愛鳥週間

5月10日 - 16日

区域が広がる上水道

県営水道 給水目標は51年

私たちの日常生活に欠くことのできないのは水です。

そこで、木曾川右岸総合用水事業による幹線導水路の建設工事が着々と進められていることは、みなさんご承知のとおりです。

この水を浄化して、みなさんの家庭へ給水するため、美濃加茂市、川辺町、坂祝町、富加村、加茂市、二番目の広域水道事業として、調査を進めてまいりました。昭和四十七年度から実

施の運びとなり、去る四月三日清水町に「岐阜県木曾川右岸用水道建設工事事務所」が開設され、その第一歩が踏み出されました。事業費は三十三億円

この計画は、昭和六十年度の給水人口九一、二〇〇名を目標に、事業費約三十三億円を投入し、美濃加茂市、川辺町、坂祝町、富加村を対象とした県営水道用水供給事業を実施するもので、木曾川右岸

用水から毎秒〇・五と一四四三、二〇〇立方メートルを取水します。この水を山之上町地内に建設が予定されている浄水場で沈んで、ろ過、滅菌をし、関係市町村の配水池まで送水するものです。

建設目標年度は、昭和四十九年度に一部給水（美濃加茂市、川辺町）し、昭和五十一年度より全給水が予定されています。

昭和四十七年度の事業予定量は、浄水場用地の買収と整地工事と延べ四回の送水管の埋設工事であり、この事業費は三億七、三〇〇万円が見込まれています。

市収入役の退任にあたり

このたび任期満了によって、三月三十一日美濃加茂市収入役を退任いたしました。

顧みますと、昭和二十二年新憲法下第一回地方自治体首長

選挙直後の五月、國らずも旧吉井町収入役を拝命し、その後美濃加茂市の誕生を経て、今日まで二十五年になりました。

みなさま、ながい間並み並びならぬお世話さまになりました。誠にありがとうございます。唯々感謝の一語につき添って厚くお礼申し上げます。

今後は、森山の自宅にあって一市民として陰ながら協力させていただきます。

何とぞ、旧に愛わらぬご指導とご交誼を賜りますようお願い申し上げます。いさつといたします。



森山町1丁目2-20 井戸市郎

生活用水の確保が苦しい現状

本市水道事業の現状は、昭和三十一年に創設し、一日最大取水量五、四〇〇立方メートル（毎秒〇・〇六二五）を浄化し、太田・吉井地域を給水していますが、最近はその向うなどにより一日ひとり当りの最大給水量は二九〇リットルから四二〇リットルと逐年増えています。

一方、青柳橋の架橋により下米田地区への給水区域の拡大など今後、生活用水の確保にますます困っており、木曾川右岸用水の通水を条件に現在、暫定的に取水権を得て給水しています。

こうした現状にかんがみ、県営で水道用水供給事業が一日も早く

市町村長・議長が出席し、木曾川右岸利水協議会上水道部会の発会式（四月三日）



完成し、私たち住民に潤いが得られるよう関係市町村による「木曾川右岸利水協議会上水道部会」を結成し、四月三日に発会しました。この給水計画は、人口増を昭和六十年まで見込み、本市の場合は人口六万一、五〇〇人に給水できるようになっていますが、森山町にある現在の浄水場や配水池はそのまま使用します。

なお、今後この事業の推進については幾多の困難が予想されると思いますが、みなさん方のご協力をいただき、きれいで豊富な水を安くお届けし、公衆衛生の向上と生活環境の改善に努めます。

市水道課

5月の

広報メモ



- 1日 マーデー
- 2日 憲法開始日
- 3日 八十八夜
- 5日 子どもの日、立夏、全国児童福祉週間
- 8日 世界赤十字デー
- 10日 岩瀬一六、日比野重勝終焉
- 14日 母の日
- 16日 「美濃加茂市の時間」岐阜放送テレビ 十一時四十分
- 21日 家庭の日

市民と市長の面談日

5月16日(火) 26日(金)

午前9時～12時

造成される2つの団地

五カ年で五百戸 今年度に造成着工 古井の住宅団地

古井の住宅団地

古井森山台地に五百戸の住宅がことしから五カ年計画で建設されます。

この住宅団地は、飛騨木曾川国定公園の景勝地小山麓と市街地が一望に見おろせ、また緑に囲まれた快適な環境に恵まれた台地で、岐阜県住宅供給公社が団地の造成と住宅建設を行ない分譲住宅の形でなわられます。

計画のあらまし

この住宅団地の計画によると、総面積は約十六万五、〇〇〇坪を今年から造成にかかり、五カ年計画で五百戸の住宅が建設されることになっています。

この団地内には、幅十二メートルの幹線道路が、

道古井ノ山之上と接続し、幹線以外の道路は、幅六メートル、水は、排水路、排水施設の完備と公園緑地、集会所などの施設も計画されています。

今年度は、一部分譲の予定で団地の造成にかかり団地内の道路づくりや下水などの終末浄化施設の整備にも取りかかります。

蜂屋の工業団地

より豊かな町づくりのために、工業団地が造成されます。

市総合計画に基づく工業開発を進めるため、蜂屋町下蜂屋伊瀬入会地の丘陵地一帯の約十四万、五〇〇坪を工業団地として計画を立て、県において同用地を内陸部の工業開発振興のために、美濃加茂工業団地として進めることにな

古井台地の住宅団地 蜂屋町の工業団地

りました。

この工業団地は、昭和四十四年加茂野町木野地区の丘陵地に造成した日立製作所テレビ工場の真側丘陵地にあたり、近くには国道248



九三〇名収容できる観覧席

7月に竣工する中濃体育館

7月に竣工の中濃体育館は5,000名近くの集会もでき、冷暖房完備です。総工費は6億1,500万円。

バレーボールなど各種競技をはじめ、道場では柔道、剣道、なぎ

なたができ、さらにトレーニングサーキット、シャワー、更衣室も完備しています。開館後は、一般住民の参加できる体育館の行事も計画されることでしょう。

不燃物の収集日

5月22日 山之上、蜂屋、加茂野、伊深、三和、下米田

24日 古井

26日 太田

(注) ガラス、鉄くず類を区別し、これ以外は、絶対出さないでください。

ライン公園にらみ／監視員さまる

木曾川緑地ライン公園内への自動車やバイクやゴミなどを捨てたり、他の利用者に迷惑をかけるような行為をする者に適切な指導をするため、十八名の監視員を市長から委嘱しました。(敬称略)

▽大田町

港町：長瀬徳一 高井政一 野口孝三 後藤勇 藤井伸 元町：野口清美 加藤貞美 佐藤益一

山田仁一 板新町：飯田勝美 下町：宮田健

▽古井地区

神明西一：小島五月 日比野正道 日比野富松 村瀬末吉 神明西二：岩田孝三 神明東 今井重喜 松井直一

50年前の古井駅周辺



↑大正14年ごろ、古井駅の西上空より森山町周辺を望む。

写真提供—森山町三丁目 岩井茂さん (53歳)

↓現在の古井駅周辺 (45年12月の航空写真より 上が北)



青柳橋も

木のつり橋だった

一面に桑畑が見られ、養蚕のさかんであったことが伺えます。

この写真について岩井さんは、「大正14年ごろ各務原の飛行隊が山之上の広場、現在の果実農協の周辺で合宿をしていた。そのときわが家に将校が泊まっており、記念にくれた写真。当時の姿を知らない人に参考になればと思っ

出した。青柳橋は木のつり橋が写っている。当時とくらべると、ずいぶん発展したが、中でも道路が整備されたことが一番目につく」とのこと。

市民のみなさんへ

市報三月号の一面でお知らせした古い写真などを募集中です。わが郷土の移り変わりを現在の姿と対照して目で理解していただくため、市の風景や民俗をあらわすものがあれば市秘蔵企画展または、もよりの連絡所へ。写真など掲載後はお返しします。

日赤社員募集に協力を

一般社員は年額三〇〇円以上

今年も、五月一日から三十一日まで、日本赤十字社員増強運動が展開されています。

赤十字では、対外的には、新國の援助、紛争、災害で苦しんでいる人の救済活動、国内にあっては血液事業、災害救済活動など広範な事業活動を実施していますが、こうした事業を運営する資金は、

すべて、みなさんからの「日赤社員」としての社資によって、賄われています。

このように、今年も市では、自治会を通して、日赤社員への加入社資の募集を次のように行なっていますので、趣旨、ご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

市民の善意

(以下敬称は略します)

◆交通遺児援護基金へ

2・10 加茂警察署長渡

辺春海より三万円 亡

母がおさんの香典返

しとして

2・14 太田ボウリング

センターシニア会長岡

崎芳郎他より八万一千

三百八十円 開場一周年

記念チャリティボウリング大会

より

2・20 美濃加茂ボウルより交通

遺児をボウリングに招待と一万

七十五円 備え付けのチャリティ

ボックスより

2・29 OSボウルより十万円オ

ープン記念として

2・29 OSボウルより五万八千

八百円 オープン記念慈善基金

より

◆竹ぼうきの寄付

2・23 堀部美木一(蜂屋町伊瀬)

他三人で竹ぼうき70本

4・4 吉川為一(太田町北新)

竹ぼうき80本

この竹ぼうきは、市学校教育課

から4月11日市内各小中学校へ

配布されました。

◆愛のともしび運動への寄付

1・25 伊藤正助(太田町中町)

五千円

2・18 妙見講道行団

八、六九七円

タ 北野政次郎(本郷町)

テレビ一台(中古)

3・22 匿名 五百円

募集内容

○特別社員 五千円以上の個人または法人

○一般社員 年額三百円以上の個人(ただし、継続社員の社資額は当分の間、いままですりです)

今年度の市の目標額

一般社員 八三万八、〇〇〇円

法人社員 五万円

障害児に

福祉手当

申込み五月、支給八月

本年四月一日より、市独自の福祉行政の一環として、美濃加茂市重度心身障害児福祉手当条例が施行になりました。

この福祉手当は、精神、または身体に重度の障害があるお子さんの日常生活の向上に寄与し、保護者の経済的援助になることを目的として発足しました。

該当されると思われる方は、五月中に市役所福祉事務所へ支給認定の申し込みをしてください。

支給の要件

一、二〇歳未満の身体障害児(一級または二級)または、精神薄弱児(知能指数三五以下)

二、保護者は、市内に住所があり日本国民であること。

支給額 月一、〇〇〇円

支給月 八月・十二月・三月で

それぞれ四カ月分が支給されます

伝説

20

古井の神さま

いまからおおよそ七百年も昔のこと。ちょうど蒙古(もうこ)の大軍がやってきたころのことです。

あまりの真剣な村人のようすをみて、神さまは一本の柳の木に身を移し、村人たちに聞まされて川合の地にいかれたのです。



それからというもの、不思議にもあれだけいきおいよくはやっていった疫病がまたたくまにおさまったのです。

古井の川合で、とても恐ろしい疫病(伝染病)がはやりだし、あちこちで苦しむ人や死ぬ人が、どんどんふえていったのです。それからというもの、この地で病気をする人は少なくなったという事です。

村人たちは、どうしたらよいかわからずただあわてるばかり

古井神社由緒参考
東中学教頭 古田文兵

家屋の実態調査

五・六月中に市職員が訪問

来年(四十八年)は、固定資産税評価額の基準年度にあたり、土地家屋・償却資産(機械等)の評価額の評価替えを実施します。評価替えの方法は、土地は実際の売買例を参考として家屋は実態調査によって評価替えがされます。また、償却資産については、毎年一月一日現在所有される全資産の申告により評価額の決定がされます。

また、評価替えとは別に市の税務課では、固定資産税の課税標準額や税額の算定のために電算機利用の方法に切換え、土地については今年から、家屋の一部については来年より切換える予定です。このため、評価額の基礎調査と合わせて実態調査を計画しています。

すので、係員が各家庭に伺います。たご協力をお願いいたします。

調査の対象は、市内に建てられている全家屋(住家、非住家の別なく全家屋)で、調査の内容は建物の所在地番、建築年月、建物の面積、建物の平面見取図、所有者の氏名・使用者の氏名などです。あらかじめわかるようにしておいてくださればよいと思います。

なお、原則として在宅の調査に伺いますが、不在のときは、近所の方に連絡するなどしていただければ幸いです。

この調査は、聞き取り調査が主体であり、家の中へ入ることはしなくともできる調査で、外周にて平面図の作成が目的です。

日程等については各家庭に通知

調を配布します。 市税務課

母子家庭へ

児童扶養手当を支給

母子家庭で、お母さんが、義務教育終了前のお子さんを養育している、公的年金を受けていない人は民生委員が市福祉事務所へ

◎お子さん一人につき三、四、八〇〇円(年額)

◎お子さん二人以上一人につき、四、八〇〇円加算(年額)

の児童扶養手当が支給されます。

今月の在宅医

◆診療時間 午前9時～午後6時

7日 安藤 医院(土曜) 〇八二二

14日 日江井 医院(土曜) 〇三三八二

21日 ライン 産婦人科(土曜) 〇二四八

28日 横山 医院(土曜) 〇二六四七

6月 4日 岡田 医院(土曜) 〇二〇七一

5・6月の予防接種

小児マヒと日本脳炎の予防接種を実施しますので、該当者の方は必ず受けてください。

※注射の前には体温を計って、母子手帳を持参してください。

料 金 小 児 マ ヒ……………無 料
日 本 脳 炎……………150円

種 類	日 時	所											
		中 公 民 館	東 民 館	公 館	吉 井 連 絡 所	錦 連 絡 所	山 上 連 絡 所	加 茂 野 連 絡 所	下 米 田 連 絡 所	伊 深 連 絡 所	三 和 連 絡 所		
小 児 マ ヒ	1期 46.7.1~47.1.31	5/26	1.30	1.30	3.00	1.30	3.00	1.30	3.00	1.30	3.00	1.30	3.00
	2期 46.1.1~46.6.30	2.00	5/24	2.00	5/24	2.00	5/25	2.00	5/23	2.00	5/22	2.00	3.30
日 本 脳 炎	1期	5/31	1.30	1.30	3.00	1.30	3.00	1.30	3.00	1.30	3.00	1.30	3.00
	2期	2.00	5/29	2.00	5/29	2.00	6/1	2.00	5/30	2.00	6/2	2.00	3.30
1期 43.4.1~44.3.31	1期	6/7	1.30	1.30	3.00	1.30	3.00	1.30	3.00	1.30	3.00	1.30	3.00
	2期 4歳以上希望者	2.00	6/5	2.00	6/5	2.00	6/8	2.00	6/6	2.00	6/9	2.00	3.30

〔注〕 この表は、6月号には掲載しませんのでたいせつに保存しておいてください。

